# 環　境　報　告　書

# 2022年度

活動期間

【2022年4月1日　～　2023年3月31日】

発行日

2023年　8月　1日

株式会社　司

## 1．組織 の概要

（1） 事業所名 ：株式会社 司

（2） 代表者氏名 ：代表取締役 松村亜矢子

（3） 所在地 ：本社・事務所 三重県松阪市五主町1313番地
中間処理施設 三重県津市一志町其倉170番地1
積替え保管施設 三重県津市一志町其倉170番地1

（4） 事業内容 ：解体工事業
産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物処分（中間処理）
一般廃棄物収集運搬

（5） 資本金 ：１０，０００千円

（6） 沿革

| | |
|---|---|
| 1990年2月 | 事業発展により個人組織より有限会社司清掃社法人化 |
| 1990年9月 | 三重県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 1992年2月 | 三重県一志郡三雲町五主町1313にて事業所所在地に本社移転 |
| 1996年5月 | 三重県度会郡玉城町に伊勢営業所設立 |
| 1999年5月 | 三重県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 1999年7月 | 愛知県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| | 愛知県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2000年8月 | 三重県産業廃棄物処分業許認可 |
| | 三重県解体事業登録 |
| 2001年2月 | 有限会社司清掃社から株式会社司へ組織変更 |
| 2001年7月 | 岐阜県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| | 岐阜県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2003年6月 | 専務取締役松村亜矢子が退任し、代表取締役に就任 |
| 2004年4月 | 三重県再生施設認定 |
| 2005年8月 | 肥料登録（発酵肥料つかさ） |
| 2008年4月 | 事業拡大に伴い津市一志町に津リサイクル工場完成 |
| 2008年5月 | 奈良県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2008年6月 | 再生利用業個別指定許認可 |
| 2009年7月 | 滋賀県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| | 滋賀県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2009年10月 | 食品循環資源再生利用事業登録許認可 |
| 2011年7月 | 三重県版環境マネジメントシステム（Ｍ－ＭＥＳ）取得 |
| 2011年7月 | 大台町Ｊ－ＶＥＲ制度活用による事業者大台町クレジット購入契約締結 |
| 2013年6月 | 使用済自動車取引業者登録 |
| 2014年2月 | 三重県産業廃棄物収集運搬業優良認定取得 |
| | 三重県特別管理産業廃棄物収集運搬業優良認定取得 |
| | 三重県産業廃棄物処分業優良認定取得 |
| 2018年7月 | 三重県産業廃棄物処分業追加(廃蛍光灯ランプに限る) |
| 2020年2月 | 発酵処理廃止 |
| | 食品循環資源再生利用事業登録許認可 登録返納 |

（７） 事業の規模 ：売上高 742,761千円(2023年1月末日決算)
従業員数 44名（パート等5名含む）
本社・事務所 敷地面積 4,706.91㎡ 延床面積 369.25㎡
中間処理施設 敷地面積 31,392.8㎡ 延床面積 1419.56㎡
積替え保管 面積 1,814 ㎡ 保管上限 341.1㎥

（8） 許認可一覧と処理能力

1）産業廃棄物収集運搬業 許可番号と品目

2022年3月31日現在

| 収集運搬業 | | | | 産業廃棄物 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県<br>政 令 | 許可番号 | 許可年月日<br>有効期限 | 積替え保管の有無 | 燃えがら | 汚泥 | 廃油 | 廃酸 | 廃アルカリ | 廃プラ | 紙屑 | 木屑 | 繊維屑 | 動植物性残渣 | ゴム屑 | 金属屑 | ガラス屑等 | 鉱さい | ガレキ類 | ばいじん及びダスト類 |
| 三重県 | 第02414020434号 | 2017年10月11日<br>2024年9月20日 | 有 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 愛知県 | 第02300020434号 | 2019年7月8日<br>2024月7月7日 | 無 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 岐阜県 | 第2100020434号 | 2021月8月4日<br>2026年7月22日 | 無 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 奈良県 | 第02900020434号 | 2018年5月14日<br>2028年5月13日 | 無 | | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● |
| 滋賀県 | 第02501020434号 | 2019年7月2日<br>2024年7月1日 | 無 | | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● |

| 収集運搬業 | | | | 特別管理産業廃棄物 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県<br>政 令 | 許可番号 | 許可年月日<br>有効期限 | 積替え保管の有無 | 引火性廃油 | 感染性廃棄物 | 廃酸 | 廃アルカリ |
| 三重県 | 第02454020434号 | 2021年6月4日<br>2028年5月25日 | 無 | ● | ● | ● | ● |
| 愛知県 | 第02350020434号 | 2019年7月8日<br>2024年7月7日 | 無 | ● | | ● | ● |
| 岐阜県 | 第2150020434号 | 2021月8月4日<br>2026年7月22日 | 無 | ● | ● | ● | ● |
| 滋賀県 | 第02551020434号 | 2019年7月2日<br>2024年7月1日 | 無 | ● | | ● | ● |

2）産業廃棄物処分業 許可番号と品目

| 処分業【中間処理】 | | | | 産業廃棄物 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都道府県<br>政 令 | 許可番号 | 許可年月日<br>有効期限 | 積替え保管の有無 | 燃えがら | 汚泥 | 廃油 | 廃酸 | 廃アルカリ | 廃プラ | 紙屑 | 木屑 | 繊維屑 | 動植物性残渣 | ゴム屑 | 金属屑 | ガラス屑等 | 鉱さい | ガレキ類 | ばいじん及びダスト類 |
| 三重県 | 第2424020434号 | 2018年7月3日<br>2024年8月24日 | | | | | | | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | | ● | |

3）処理能力【中間処理】

| | | |
|---|---|---|
| 加熱固化 | 廃プラスチック類(発泡スチロールに限る、石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 0.4 t/日（8h） |
| 破 砕（A） | 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 4.4 t/日（8h） |
| | 木くず（水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 4.4 t/日（8h） |
| | 金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 4.9 t/日（8h） |
| 破 砕（B） | 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 4.64 t/日（8h） |
| | 紙くず（水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 3.12 t/日（8h） |
| | 木くず（水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 4.72 t/日（8h） |
| 破 砕（C）<br>（廃蛍光ランプ） | 廃プラスチック類（廃蛍光ランプに限る、石綿含有産業廃棄物を除く） | 0.168 t/日（8h） |
| | ガラスくず（廃蛍光ランプに限る、石綿含有産業廃棄物を除く） | 0.48 t/日（8h） |
| | 金属くず（廃蛍光ランプに限る） ※上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む | 1.68 t/日（8h） |
| 圧 縮 | 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 2.8 t/日（8h） |
| | 金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 5.6 t/日（8h） |
| 選 別 | 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) | 132 ㎥/日（8h） |

他6種類

４）一般廃棄物収集運搬業　許可番号および許可期限

| 市町村 | 事業の区分（主たる業務） | 許可年月日 | 許可番号 | 許可期限 | 備考欄 |
|---|---|---|---|---|---|
| 四日市市 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2020年4月1日 | 第206号 | 2024年3月31日 | |
| 鈴鹿市 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2020年4月1日 | 第45号 | 2024年3月31日 | |
| 津市 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2020年4月1日 | 第95号 | 2024年3月31日 | |
| 松阪市 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2021年7月1日 | 第11号 | 2025年6月30日 | |
| 多気町 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2020年4月1日 | 多収第2号 | 2025年3月31日 | |
| 大台町 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2021年1月23日 | 平成28年第7号 | 2025年1月22日 | |
| 伊勢市 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2020年4月1日 | 29清 第1263号 | 2024年3月31日 | |
| 明和町 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2020年4月1日 | 平成30年 第2号 | 2024年3月31日 | |
| 玉城町 | 一般廃棄物収集運搬業 | 2021年4月1日 | 玉城町認可 | 2025年3月31日 | |

5）その他登録許可および許可期限

| 所轄 | 名　称 | 登録/許可年月日 | 登録番号 | 許可期限 | 備考欄 |
|---|---|---|---|---|---|
| 三重県 | 計量証明事業 | 2008年9月24日 | 第278号 | ― | 津市一志町其倉170-1 |
| 三重県 | 一般廃棄物処理施設設置 | 2009年3月24日 | 津農環第83-1号 | ― | |
| 三重県公安 | 古物商許可 | 2009年7月23日 | 第551230078000号 | ― | |
| 三重県 | 一般建設業許可 | 2022年5月23日 | 三重県知事　許可（一般-4）　第13904号<br>第5-7号 | 2027年5月22日 | |

（9）取扱い一般廃棄物並びに産業廃棄物（事業規模）

１）収集運搬実績（一般廃棄物・産業廃棄物）と運搬車両（施設）の種類・台数

・収集運搬量実績

| 収集運搬実績 | 単位 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|---|---|---|---|---|
| 一般廃棄物収集運搬量 | t | 6,317 | 5,778 | 5,485 |
| 産業廃棄物収集運搬量 | t | 12,012 | 11,965 | 11,706 |
| 特別管理廃棄物収集運搬量 | t | 0 | 0 | 0 |

※特別管理産業廃棄物の許可はありますが、実績はありません。

・運搬車両の種類と台数

| 車両の種類 | 最大積載量 | 台数 | 車両の種類 | 最大積載量 | 台数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 塵芥車（パッカー） | 1,500～2,750kg | 7台　※一廃 | 3tｱｰﾑ車(脱着装置付ｺﾝﾃﾅ専用車) | 3,000kg | 3台 |
| 塵芥車（パッカー） | 1,500～4,150kg | 6台　※産廃 | 4tｱｰﾑ車(ｸﾚｰﾝ付含) | 2,400～3,600kg | 3台 |
| ２ｔトラック | 2,000kg | ３台 | 大型ｱｰﾑ車(ｸﾚｰﾝ付含) | 6,900～7,900kg | 3台 |
| ４ｔｳｨﾝｸﾞ車 | 2,350～2,900kg | 2台 | ﾕﾆｯｸ付ﾄﾗｯｸ車 | 3,300kg | 1台（４ｔ） |
| 10ｔ車 | 13,600kg | 2台 | 吸引(ﾀﾞﾝﾊﾟｰ)車 | 2,930kg | 1台 |

※市町(一般廃棄物)・各県(産業廃棄物)　重複にて申請車両あり。

・中間処理実績

| 処理実績 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|
| 破砕 | t | 1,915 | 3,009 | 3,109 |
| 加熱固化 | t | 63 | 60 | 100 |
| 選別 | t | 5,962 | 3,387 | 2,969 |
| 圧縮 | t | 270 | 42 | 104 |
| 合　計 | t | 8,210 | 6,498 | 6,282 |

・ 積替え保管施設場所 種類・保管条件

積替え保管場所

場所　：　三重県津市一志町其倉字岩ヶ谷170番1

面積　：　1,814 ㎡

種類　：　廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む)、金属くず、
ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む)
（上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む）
紙くず、木くず、繊維くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)

保管上限　：　341.1 ㎥

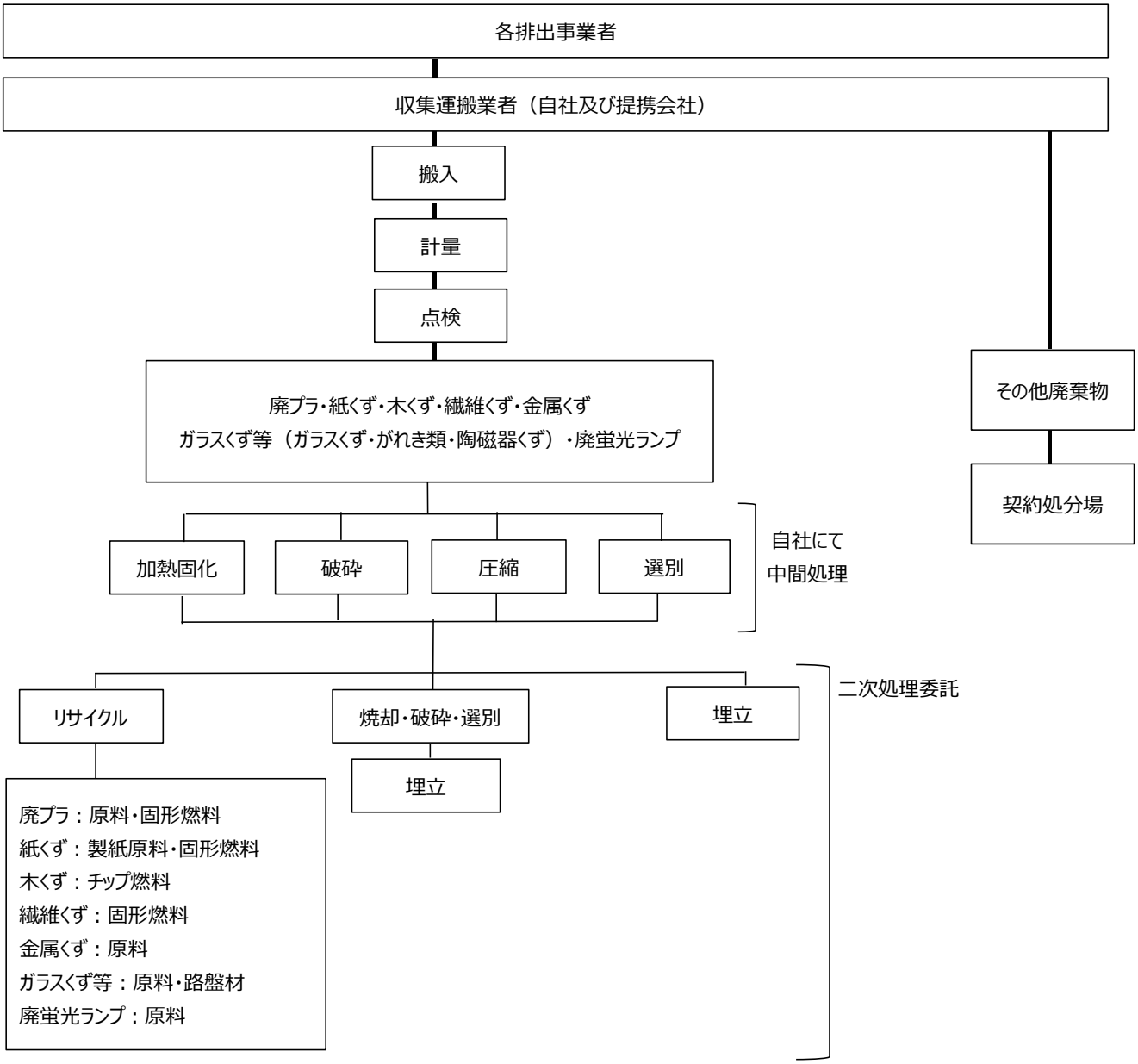
・処理施設

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 中間処理施設 | 加熱固化施設 | ﾊｲﾒﾙﾀｰＲＥ-ＥＸ501 | 廃プラ（発泡ｽﾁﾛｰﾙに限る） | |
| | 破砕（Ａ）施設 | 一軸破砕機ＵＳ75 | 廃プラ　木くず　金属くず | |
| | 破砕（Ｂ）施設 | 破砕機ＢＲ2001 | 廃プラ　木くず　紙くず | |
| | 破砕（Ｃ）施設 | CFR型廃蛍光灯クラッシャー | 廃プラ　金属くず　ガラスくず等 | |
| | 圧縮施設 | カンプレッサー | 廃プラ　金属くず | |
| | 選別施設 | 磁選機・コンベアー | 廃プラ・紙くず・木くず・金属くず・ガラスくず・繊維くず・がれき類　以上7種類 | |
| 重機 | 後方超小旋回ショベル　SK55SR-6E | | ― | 西日本コベルコ建機㈱ |
| | 後方超小旋回ショベル　SH125 | | ― | 住友建機㈱ |
| フォークリフト | トヨタエンジンフォークリフト50-8FD25 | | 最大荷重　2,500kg | トヨタL&F中部（株） |
| | トヨタエンジンフォークリフト　02-8FD30① | | 最大荷重　3,000kg | |
| | トヨタエンジンフォークリフト　02-8FD30② | | 最大荷重　3,000kg | |
| | トヨタエンジンフォークリフト　02-8FD30③ | | 最大荷重　3,000kg | |

・処理能力

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中間処理施設 | 加熱固化施設 | 廃プラ（発泡ｽﾁﾛｰﾙに限る） | 0.4 t /日(8ｈ) |
| | 破砕（Ａ）施設 | 廃プラ | 4.4 t /日(8ｈ) |
| | | 木くず | 4.4 t /日(8ｈ) |
| | | 金属くず | 4.9 t /日(8ｈ) |
| | 破砕（Ｂ）施設 | 廃プラ | 4.64 t /日(8ｈ) |
| | | 紙くず | 3.12 t /日(8ｈ) |
| | | 木くず | 4.72 t /日(8ｈ) |
| | 破砕（Ｃ）施設（廃蛍光ランプ） | 廃プラスチック類（廃蛍光ランプに限る) | 0.168 t /日(8ｈ) |
| | | ガラスくず（廃蛍光ランプに限る | 0.48 t /日(8ｈ) |
| | | 金属くず（廃蛍光ランプに限る） | 1.68 t /日(8ｈ) |
| | 圧縮施設 | 廃プラ | 2.8/日(8ｈ) |
| | | 金属くず | 5.6 t /日(8ｈ) |
| | 選別施設 | ― | 132㎥/日(8ｈ) |

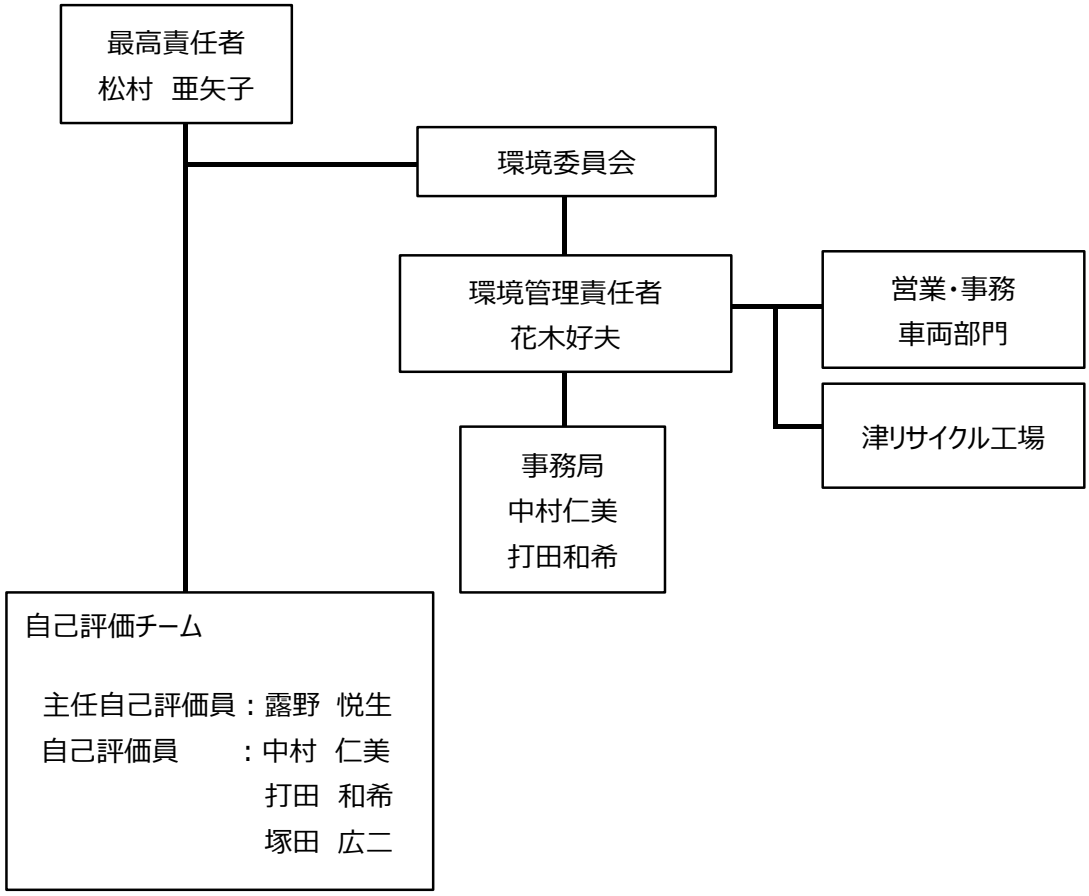
処理工程図【参考】




（10）廃棄物の処理料金

運搬距離・廃棄物内容・回収形態等により、都度見積りをおこなう。

（11）環境活動の取組体制




環境管理責任者：花木　好夫

担当者連絡先：中村　仁美　　本社　　TEL：0598-56-6153　FAX:0598-56-4889

打田　和希　　津リサイクル工場　TEL：059-254-6655　FAX：059-259-2228

## 2．登録対象

（1）登録内容

M-EMS 登録証

登　録　日　：　2011年　7月　1日（S2)

登 録 期 限　：　2025年　6月30日

登 録 番 号　：　M-EMS2W-0006　　KES2W-5-0006

（2）登録範囲

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業及び、産業廃棄物処分業（中間処理）に係わる全ての事業活動

（3）対象事業所

本社・事務所　　三重県松阪市五主町１３１３ 番地

中間処理施設　　三重県津市其倉１７０－１番地（津ﾘｻｲｸﾙ工場）

（積替え保管場所含む）

## ３．環境宣言

# 環 境 宣 言

## 基本理念

株式会社 司は、「可能な限り資源を循環させ、環境と共に生きる道を見出すこと」を使命と考え、人類共通の最重要課題の一つである地球環境の保全を推進し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

## 方 針

株式会社　司は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業及び産業廃棄物処分業の全ての活動、製品及びサービスに係わる環境負荷の低減及び環境保護をするために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連法令、その他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響の内、以下の5項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
   (1)本社・工場周辺の清掃と社会貢献の推進（地域の行事参加協賛等）
   (2)電力使用量の削減
   (3)リサイクル率の向上
   (4)環境意識の向上のための環境教育の推進
   (5)軽油使用量の削減(収集運搬車両対象)
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとと一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県および松阪市・津市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメント活
推進します。

制定日　2011年2月1日

改定日　2022年4月1日

**株式会社 司**

**代表取締役松村亜矢**

４．環境改善目標

・環境負荷の実績及び３年間の中期環境改善目標
（基準年度：2021 年度）

| No | 環境改善目標<br>(中長期) | （基準年度）<br>2021年度実績 | 単位 | | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 事務所･工場周辺及び使用施設の清掃（偶数月･2拠点）12回<br>工場全体清掃2回<br>地域行事参加及び協賛等の実施年間3回 | 清掃　12回<br>全体清掃　2回<br>行事参加･協賛　5回 | 回/年 | 目標 | 清掃14回<br>行事参加/協賛3回 | 清掃14回<br>行事参加/協賛3回 | 清掃14回<br>行事参加/協賛3回 |
| | | | | 実績 | 清掃14回<br>行事参加/協賛4回 | | |
| 2 | 電力使用量の削減<br>本社電力･工場高圧電力<br>基準年度比1%削減 | 144,049kWh | kWh<br>(kg-$CO_2$/年) | 目標 | 基準年度比±0%<br>144,049　(54594.5) | 基準年度比±0%<br>144,049　(54594.5) | 基準年度比1%減<br>142,608　(54048.4) |
| | | | | 実績 | 133,895　(50746.2) | | |
| 3 | リサイクル率の向上<br>基準年度比1%向上 ※1 | 79.6% | % | 目標 | 基準年度比±0%<br>79.6% | 基準年度比±0%<br>79.6% | 基準年度比１%向上<br>80.3% |
| | | | | 実績 | 81.8% | | |
| 4 | 環境教育の推進<br>①環境講習会の実施　年4回<br>②緊急連絡訓練及び防災訓練各年1回 | 講習会（7回）<br>訓練（2回） | 回 | 目標 | 6回/年 | 6回/年 | 6回/年 |
| | | | | 実績 | 9回 | | |
| 5 | 軽油使用量の削減<br>(収集運搬車両対象)<br>基準年度比2%削減 | 257.1ℓ/M￥<br>(売上高) | ℓ/M￥<br>(売上高) | 目標 | 基準年度比±0%<br>257.1 | 基準年度比１%減<br>254.5 | 基準年度比2%減<br>251.9 |
| | | | | 実績 | 252.7 | | |

※1　自社策定リサイクル率＝（①リサイクル処理量÷②廃棄物処理量）×１００

①リサイクル処理量＝　自社リサイクル資源化量〔プラスチック原料＋金属原料＋紙原料＋ガラス原料〕＋
二次処理先リサイクル処分量〔RDF（プラスチック+紙くず+繊維くず）＋燃料チップ（木くず）
＋路盤材（ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず）〕

②廃棄物処理量＝自社処分量（中間処理）

・管理項目での実績

| No | 管理項目 | 具体的施策 | 項目<br>単位 | 2022年度 | | 2023年度 | | 2024年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 実績値 | $CO_2$排出量 | 実績値 | $CO_2$排出量 | 実績値 | $CO_2$排出量 |
| 1 | グリーン購入 | 毎月事務用品購入時の<br>エコ商品購入実績の把握 | 品 | 22品 | － | | － | | － |
| 2 | ガソリン･軽油（燃料）<br>合計使用量の把握<br>(収集運搬車両の軽油を除く) | ・アイドリングストップの推進<br>・エコ運転の励行 | 使用量<br>ℓ<br>(ガソリン/軽油) | 3,387 | 7,857.8 | | | | |
| | | | | 28,389 | 73,243.6 | | | | |
| 3 | 水道使用量の把握 | ・洗車時の節水励行<br>(水の出しっぱなしの排除) | 使用量<br>㎥ | 572.0 | － | | － | | － |

排出係数：電力0.379kg-$CO_2$/kWh、ガソリン2.32 kg-$CO_2$/ L 、軽油2.58 kg-$CO_2$/ L

出典：2021年（令和3年）環境省より

水の使用量は、生活排水のみのため、改善目標から除外し、維持管理項目とする。

化学物質においては、その使用実績がありません。

## ５.環境改善目標と実績

2022年度環境活動実績

| No | 環境改善目標 | 具体的方策 | 目標値 | 実績値 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 事務所･工場周辺及び使用施設の清掃（偶数月･2拠点）12回<br>工場全体清掃2回<br>地域行事参加及び協賛等の実施年間3回 | ･清掃　12回<br>･全体清掃　2回<br>･行事参加･協賛　3回 | 清掃14回<br>協賛他3回<br>計17回 | 清掃14回<br>協賛他4回<br>計18回 | A（105%） |
| 2 | 電力使用量の削減<br>本社電力･工場高圧電力<br>基準年度実績維持 | ･休憩時間の消灯<br>･不必要な電灯･換気扇の消灯<br>･エアコン設定温度<br>夏季：28℃　冬季：20℃<br>･工場設備の計画的な稼働<br>･設備電源の空転時の休止<br>･外出時･帰社時のPCの電源を切る | 144,049kWh/年<br>54,594.5kg-$CO_2$/年 | 133,895kWh/年<br>50,746.2kg-$CO_2$/年 | A（107%） |
| 3 | リサイクル率の向上<br>基準年度実績維持 | ･廃棄物の効率的な分別<br>･排出事業者に廃棄物の分離･分別方法を指導<br>･分別後の資源化を推進<br>（再資源受入先を増やす） | 79.6% | 81.8% | A（102%） |
| 4 | 環境教育の推進<br>①環境講習会の実施　年4回<br>②緊急連絡訓練及び防災訓練<br>各年1回 | ･本社津R工場での環境講習会開催<br>･緊急事態想定訓練実施<br>･防災訓練実施 | 6回 | 9回 | A（150%） |
| 5 | 軽油使用量の削減<br>(収集運搬車両対象)<br>基準年度実績維持 | ･エコドライブの推進<br>･タイヤ空気圧チェック<br>･アイドリングストップ<br>･什器の計画的な稼働 | 257.1ℓ/M￥<br>195,696.L<br>504,895.6kg-$CO_2$/L | 252.7ℓ/M￥<br>188,812.L<br>487,134.9kg-$CO_2$/L | A（101%） |

評価記号　A：良好(100%以上)　B：やや不足(90～100%未満)　C：不適合(90%未満)

管理項目及び二酸化炭素排出量の実績

| No | 管理項目 | 具体的施策 | 項目<br>単位 | 2022年度 | | 2023年度 | | 2024年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 実績値 | $CO_2$排出量 | 実績値 | $CO_2$排出量 | 実績値 | $CO_2$排出量 |
| 1 | グリーン購入 | 毎月事務用品購入時の<br>エコ商品購入実績の把握 | 達成率<br>% | 22品 | － | | － | | － |
| 2 | ガソリン･軽油（燃料）<br>合計使用量の把握<br>(収集運搬車両の軽油を除く) | ･アイドリングストップの推進<br>･エコ運転の励行 | 使用量<br>ℓ<br>(ガソリン/<br>軽油) | 3,387<br>28,389 | 7,857.8<br>73,243.6 | | | | |
| 3 | 水道使用量の把握 | ･洗車時の節水励行<br>(水の出しっぱなしの排除) | 使用量<br>㎥ | 572 | － | | － | | － |
| 4 | 電力使用量の把握 | ･設備の休止時電源オフ推進<br>･未使用時･休憩時の消灯推進<br>･工場設備の計画的な稼働 | 使用量<br>kWh | 133,895 | 50,746.2 | | | | |
| 5 | 軽油使用量の把握<br>（収集運搬車両対象） | ･エコドライブの推進<br>･タイヤ空気圧チェック<br>･アイドリングストップ | 使用量<br>ℓ | 188,812 | 487,134.9 | | | | |
| | 二酸化炭素排出量（合計） | | kg-$CO_2$/<br>年 | － | 618,982.5 | － | | － | |

排出係数：電力0.379kg-$CO_2$/kWh、ガソリン2.32 kg-$CO_2$/ L 、軽油2.58 kg-$CO_2$/ L

出典：2021年（令和3年）環境省より

## 5．1　具体的環境活動の評価

今年度から新たに中長期目標が制定され、皆で目標と具体的な施策を確認し合い、活動に取り組んだ。
社会貢献活動に関してはコロナ終息の動きも少しずつ見られるため、営業や役員を中心に情報収集して
協力できる行事には積極的に協賛を実施し、4件と目標を上回った。
しかしながらコロナの状況も踏まえてイベント参加には至らなかったため、来年度は参加を通して
社会貢献に努めたい。
省エネルギー（軽油使用量削減）については目標達成したものの、101%と厳しい状況であるため、
ルートでの収集運搬コースの見直しを実施し、距離短縮などができないか模索して軽油削減に
努めていきたい。
その他項目についても社員一丸となって取り組んだことによりA判定という結果に繋がった。
来年度もできる限りの工夫をしながら目標達成に向けて活動に取り組みたい。

## 5．2　次年度の活動について及び今後の課題

次年度については、中長期計画に示すように今年度と同じ目標項目を掲げ、電気使用量、
リサイクル率、収集運搬車両軽油使用量ともに基準年度実績維持を目指し活動を推進する。
次年度は三重県SDGs推進パートナー登録を実施します。

# 6．環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、適用される環境関連法と、その要求事項の
概要を別表1に示す。適用される主な環境関連法の順守状況を定期的に確認評価の結果、違反はなかった。
また、関連機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

# 7．　代表者による全体の評価見直し結果

## 7．1　全体評価

今回の環境活動目標について社員一丸となって目標達成を成し遂げることができた。
省エネルギー（軽油使用量削減）に関して達成が厳しい状況が続き、次年度の施策として従業員から
収集運搬ルートの見直しの提案があった。目標達成に向けた具体的な施策を従業員自ら考え、
提案に至ったことはミームスを通して大きな成長を遂げていると実感した。

## 7．2　見直し評価

環境宣言の変更の必要性：なし
環境改善活動及び環境経営システム等の変更の必要性：なし
　現時点で見直しはないが、省エネルギー（軽油使用量削減）については目標達成が困難な場合は
　目標の見直しを検討する。
実施体制の見直し・変更の必要性：なし

# 8．　コミュニケーション

コロナウイルスの影響により予定していた行事が中止となったため、参加できなかった。

別表－1　適用される環境関連法とその要求事項

| 区分 | 名称 | 要求事項 | 環境影響項目 | 管理部門 |
|---|---|---|---|---|
| 大気 | オフロード法 | 適合証明・重機の使用、特殊自動車の排ガス規制 | 本社：リフト1基　津R:リフト3基・重機2基 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 自動車Ｎｏｘ・ＰＭ法 | 窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減 | 本社・津Ｒ：収集運搬車両 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 気候変動適応法 | ハザードマップの作成 | 環境全般 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | 熱中症対策 | | |
| | | 国県市の施策に協力 | | |
| 水質 | 浄化槽法 | 設置の届出:申請日確認 | 浄化槽：東洋ﾌﾟﾗﾝﾄTPC-5 | 津リサイクル工場<br>委託業者：東海管理ｻｰﾋﾞｽ<br>委託業者：ﾏﾙｷﾝ清掃<br>委託業者：三重県水質保全協会 |
| | | 保守点検：４ヵ月１回 | | |
| | | 清掃：年１回 | | |
| | | 法定検査（水質）：年１回 | | |
| 廃棄物 | 産業廃棄物排出事業者 | 委託契約の締結（契約書５年間保管） | 産業廃棄物<br>水銀使用製品産業廃棄物 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | 保管基準の順守 | | |
| | | ﾏﾆﾌｪｽﾄの交付・回収・照合・保管（５年） | | |
| | | 交付状況報告（知事）毎年６月末日迄 | | |
| | 廃棄物処理法（一般・産業）<br>収集運搬業 | 収集運搬業許可証の有効期限（更新）表示 | 収集運搬車両全般<br>一般廃棄物<br>産業廃棄物・特別管理廃棄物 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | 収集運搬業許可基準の順守 | | |
| | | 委託契約の締結（契約書５年間保管） | | |
| | 廃棄物処理法（一般・産業）<br>中間処理業 | 処分業許可証の有効期限（更新）表示 | 一般廃棄物・産業廃棄物<br>破砕施設<br>加熱固化施設・選別施設<br>破砕施設(水銀使用製品)<br>加熱固化施設 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | 処分業許可基準の順守 | | |
| | | 委託契約の締結（契約書５年間保管） | | |
| | | | | |
| | | 再生施設　認定 | | |
| | 廃棄物処理法（一般） | 分別処理：事業系一般廃棄物の分別、減量化<br>３Rの努力 | 事務所給湯室・休憩室 | 本社・津リサイクル工場 |
| 温暖化防止<br>廃棄物 | フロン排出抑制法 | 回収運搬破壊の経費支払と委託確認書の保存 | 業務用エアコン | 本社・津リサイクル工場 |
| | | フロン類の漏えい点検（四半期に１回の簡易点検） | | |
| | | 機器廃棄後3年間保存（引取証明書、定期点検記録、解体工事の場合、元請業者の事前説明書） | | |
| | | 廃棄物・リサイクル業者に廃棄機器引渡時、引取証明書の写しを渡す | | |
| リサイクル | 資源有効利用促進法 | 長期使用、再生資源の努力義務 | 本社：PC13台・複写機1台<br>津R：PC4台・複写機1台 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 家電リサイクル法 | 買換時リサイクル料負担 | 本社：テレビ2台・エアコン2台<br>冷蔵庫4台・洗濯機2台<br>津R：テレビ2台・エアコン2台<br>冷蔵庫1台・洗濯機1台 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 建設リサイクル法 | 建築物の分別解体／分別、発注者への報告 | コンクリート、木材 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | 建築廃材等の再資源化 | コンクリート、木材 | 津リサイクル工場 |
| | 自動車リサイクル法 | 自動車引取業者登録・登録基準の順守 | 本社：社用車1台・営業車3台<br>軽四1台・収運車両19台 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | 車検又は買換時リサイクル料負担 | | |
| | 小型家電リサイクル法 | 長期使用、再生資源の努力義務 | 本社：プリンター1台・電話機13台<br>津R：プリンター1台・電話機3台 | 本社・津リサイクル工場 |
| | プラスチック資源循環法 | プラスチック産業廃棄物の排出抑制、<br>再資源化 | プラスチック産業廃棄物 | 本社・津リサイクル工場 |
| 化学物質 | 消防法 | 指定可燃物の貯蔵の基準 | 木屑・ダンボール | 津リサイクル工場 |
| | | 少量危険物の貯蔵の基準 | 軽油貯蔵（施設燃料タンク） | |
| | 高圧ガス保安法<br>（一般高圧ガス保安規則） | 消費に関する技術上の順守（一般高圧ガス保安規則第６０条）(容器の転倒防止、バルブ開閉表示等) | 溶接用アセチレンガス、<br>酸素ボンベ | 本社 |
| 地方条例 | 三重県生活環境の保全に関する条例 | 自動車対策（ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟなど） | 自動車 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | | 駐車場 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | 騒音発生指定施設の届出 | 破砕施設 | 津リサイクル工場 |
| | 三重県産業廃棄物の適正処理の推進に関する条例 | 委託先の許可期限確認・処分場現地確認 | 産業廃棄物：収集運搬・処分 | 本社・津リサイクル工場 |
| | | 処理実績報告（知事）毎年６月末日迄 | | |
| | 三重県地球温暖化対策推進条例 | 温室効果ガスの発生抑制 | 自動車、他 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 三重県環境基本条例 | 公害防止・環境保全・環境負荷低減・市町村への協力 | 自動車、他 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 松阪市環境基本条例 | 分別処理・３Rの努力 | 事務所給湯室・休憩室 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 津市環境基本条例 | 分別処理・３Rの努力 | 事務所給湯室・休憩室 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | 指定区域での収集運搬業を行う事業者の許可申請【2年毎更新】 | 収集運搬車両全般 | 本社・津リサイクル工場 |
| | 伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | 指定区域での収集運搬業を行う事業者の許可申請【2年毎更新】・月次処理実績報告 | 収集運搬車両全般 | 本社・津リサイクル工場 |
| その他の要求事項 | 協定<br>覚書　津市環境協定 | 臭気・騒音測定：年1回　記録・保存 | 加熱固化施設<br>（送風機・発泡溶融機）<br>破砕施設 | 津リサイクル工場 |
| | | 騒音敷地境界線上基準の順守：年１回測定65ｄB以下 | | |
| | | 悪臭排出基準の順守：年１回測定津市一志町臭気指数15 | | |

# 産業廃棄物　処理実績表　（2022年度）

## 収集運搬量/持込量

| 種　類 | 収集運搬量（ｔ） |
|---|---|
| 廃プラスチック | 3,700 |
| 金属くず | 1,263 |
| 紙くず | 25 |
| 木くず | 2,010 |
| 繊維くず | 0 |
| ガラスくず等 | 163 |
| がれき類 | 362 |
| 蛍光ランプ | 4 |
| 汚泥 | 1,958 |
| 動植物性残渣 | 1,849 |
| 廃酸 | 247 |
| 廃アルカリ | 8 |
| 廃油 | 56 |
| 電池 | 8 |
| バッテリー | 0 |
| 燃え殻 | 0 |
| 混合廃棄物 | 53 |
| 合計 | 11,706 |

| | |
|---|---|
| 持込量 | 226 |

| | |
|---|---|
| 総合計取扱量 | 11,932 |

## 処分量

| 種　類 | 自社処分量（ｔ） |
|---|---|
| 廃プラスチック | 2,655 |
| 金属 | 1,279 |
| 紙くず | 25 |
| 木くず | 2,035 |
| 繊維くず | 0 |
| ガラスくず等 | 167 |
| がれき類 | 118 |
| 蛍光ランプ | 3 |
| 合計 | 6,282 |

| | |
|---|---|
| 直接契約処分場搬入 | 5,650 |

## 自社処分量　（中間処理）

| 処分方法<br>種類 | 処分量（ｔ） |
|---|---|
| 破　砕<br>廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず・蛍光ランプ | 3,109 |
| 加熱固化<br>廃プラスチック（発泡に限る） | 100 |
| 選　別<br>廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず<br>繊維くず・ガラスくず等・がれき類 | 2,969 |
| 圧　縮<br>廃プラスチック・金属くず | 104 |
| 合計 | 6,282 |

【内訳（ｔ）】

| リサイクル（再資源化） | |
|---|---|
| プラスチック・紙原材料他 | 61 |
| 金属原料 | 1,258 |
| ガラス原料 | 60 |
| 合計 | 1,379 |

| 司排出二次処理（二次マニフェスト） | |
|---|---|
| リサイクル<br>（RPF、燃料チップ他） | 3,734 |
| その他二次処理<br>（破砕、選別、焼却等） | 52 |
| 最終処分場（埋立） | 1,117 |
| 合計 | 4,903 |

| | |
|---|---|
| 総合計処分量 | 6,282 |

| | |
|---|---|
| 2021年度リサイクル率 | 81.3% |

※算出方法：

$$= \frac{\{\text{リサイクル（再資源化）＋司排出リサイクル処分量}\}}{\text{総合計処分量}} = \frac{1379+3734}{6282}$$